

第58年度 D.2610 ROTARY CLUB OF KOMATSU



# 小松ロータリークラブ会報

■会長：中川 公三 ■幹事：嶋田俊一郎 ■副会長：西沢 耕一 ■会長エレクト：中橋 勝美

2012～2013年度 国際ロータリーテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

## 姉妹クラブ関係が名実ともにスタート

### 蒲郡RCから小松RCへの初訪問



挨拶される大前蒲郡RC会長

8月29日(木)の例会には、待望していた姉妹クラブ・蒲郡RCからの来訪があった。来訪されたのは、大前廣一蒲郡RC会長以下8名。

例会では、山上徳司小松RC会長の歓迎の言葉の後、大前蒲郡RC会長が一行を代表して『小松RCから姉妹クラブ関係締結の申し入れを受けた時は、大変に有り難いことだとともに二も二もなく賛同したもの、一応の手順を踏まなければならない関係で理事会や臨時総会に諮ったが、これまた全

会一致の賛同で、前年度末の6月28日に電光石火の早さで姉妹クラブ関係締結の調印にまで漕ぎ着けられた。実質的には小松RCが創立30周年記念を催される本年度からのスタートとなるが、形式にこだわったり華美に流れた交流は途中で挫折し易いので、相互に気楽な略儀を旨として末永い姉妹関係を継続したい」と挨拶。例会の後、一行は徳田正彦会員の九谷絵付工房や名勝・那谷寺を見学。夕刻から、法師善五郎会員の法師旅館で、温泉で汗を流した後、小松RCからも22名が参加して合同懇親会。懇親会では、相互にクラブの特色や様子を語らいながら、両RCの今後の交流方法などについて意見を交換。蒲郡RCの面々から歌や踊りの隠し芸の披露があり、小松RCからの参加者も負けじとばかりカラオケ歌唱。伊東清雄バスターガバナーによる手締めの後、両RCが相互に発展と繁栄を記念して万歳三唱のコールを交換。相互に情報交換と親睦交流の実をあげた。

## 辻俊一氏・財団奨学生に

地区ロータリー財団委員会から通知



当RCが子てからロータリー財団奨学生として推薦していた辻俊一氏につき、地区ロータリー財団委員会から8月18日付で選考試験に合格され正式候補者として決定されだ旨の通知があった。

辻俊一氏は、1956年、金沢市で出生。金沢大学附属高校を経て、1981年、金沢大学医学部医学科を卒業し金沢大学医学部大学院へ入学。その後、厚生連高岡病院・国立金沢病院の勤務を経て、1984年から整形外科芦城病院に勤務。既に米国ミネソタ大学へのコンタクトもできており、1983年度に当RCが推薦した松本忠美氏に引き続き、北陸の地へ関節外科の最新術法を導入したいと情熱を燃やしておられる。

## ロータリーの組織と運営

本年度第1回目の炉辺会合で解説

8月24日(土)午後6時30分から、市内土居原町の吉田直人ロータリー情報委員長宅で、本年度第1回目の炉辺会合が開催され、ロータリー情報委員も含め会員12名が参加。今回の炉辺会合は、主として新会員を対象としたもので、前年度に編纂された『ロータリー案内』をテキストとして、ロータリー情報委員から綱領・定款・細則などの基本規定やIGF・地区協議会・地区年次大会などのフォーラム・アセンブリーについて相当に掘り下げた解説が行われた。任意参加をしたベテラン会員からも、非常に勉強になり、有意義だったと評価されている。

なお、本年度の今後の炉辺会合の日程については、金津善一・半田憲司の各ロータリー情報委員長宅で持ち回りとされる他、上杉思朗会員の聖徳寺でも開催される見込となっている。

小松ロータリークラブ 月報 (1985年8月号)

小松ロータリークラブ あの日あの時



事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F  
 TEL.0761-24-1340・FAX.0761-24-4700  
 E-mail:office@komatsu-rc.jp URL:http://komatsu-rc.jp/  
 クラブ会報委員会〈委員長〉数左 従光〈委員〉斉藤 浩・後藤 尚彦